

HADANO MEISUI

ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355
事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355
例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分
会長 鈴木和夫 幹事 山谷洋子 会報・雑誌・IT 委員長 原恵美子



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021年～2022年度国際ロータリー会長
シェカール・メータ

第1792回 2022年6月23日(木)《週報》

秦野名水ロータリークラブ
秦野商工会議所 12:30

1. 点 鐘
2. 合 唱 「手に手つないで」、四つのテスト



3. お客様の紹介
4. 会長の時間



○第12回 第7グループ会長・幹事会での連絡事項をお伝えしたいと思います。

・5月8日第7グループ、ロータリー奉仕デーの決算報告の紹介がございました。

差し引き残高 96,784円・・・この金額を地区にロータリー財団の年次寄付として各クラブ人数割で送っております。

- ・ウクライナの募金寄付について・・・32,852円
第7グループ親睦ゴルフコンペ・・・66,368円
こちらの募金をウクライナのロータリークラブへ送金する。

- ・地区内に新クラブが発足致しました。

第3グループ所属 設 立・・・5月17日

認証式・・・6月27日

クラブ名・・・神奈川DE I

会員数・・・22名

- 「運を切り開く努力の言葉」日本マクドナルド代表取締役会長兼社長CEO
の原田泳幸さんを紹介したいと思います

『基本に立ち返れ。基本以外は何もするな』

★基本をおろそかにすると、あらゆる仕事が雑になる

2003年、日本マクドナルドは、7年連続で前年対比即存店売上高マイナスの赤字決算に陥っていた。それを7年連続でプラスへと転じさせた原田泳幸は、実はファーストフード業界の門外漢だった。アップル日本法人の社長を務めるなど33年間にわたってIT業界一筋だった。

日本マクドナルドに入社したのは04年、トップ就任は05年である。つまり低迷期に入社し、成長企業へと復活させてい。原田はどんな魔法を使ったのだろうか。

原田が入社した時、幹部は業績低下の理由を、多店舗展開を急速に進めたために、店舗同士がお客さんを奪い合った結果だと説明したが、原田自身は原因は別にあると見ていた。外食産業の基本であるQSC&Vがおろそかになっていると考えたのだ。

(クオリティー＝美味と安全)・(サービス＝心温まるおもてなしとクイックサービス)・(クリンリネス＝快適な食事が出来る環境、清潔さ)・(バリュー＝総合的な価値ある食事体験)

モノづくりの世界では、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）が行き届かない企業は良いものを決して作れない。同様にサービス業ではQSC&Vが出来ていない企業がお客さんの満足を得るのは難しい。

★当たり前のことを当たり前にしかし徹底してやる

1971年第1号店をオープンした日本マクドナルドは、90年までに1000点近くに増加する。さらに、それからの約10年間で3000店増えている計算だ。1年で200店増えている計算だ。この時期から低迷が待っている。出店に人材育成が追いつかず、大切なQSC&Vがおざなりになったのだ。その結果、顧客満足度が低下したと原田は見た。

サービス業は人で決まる。人が育たないままに店舗の拡大を急ぐと、業績の低下を招く。そこで原田が打ち出したのが「**基本に立ち返れ。基本以外は何もするな**」という方針だ。当たり前のことを当たり前に、しかし徹底してやる。業績不振の時には奇策に打って出たくなるものだが、原田は基礎基本を徹底し日本マクドナルドらしさを取り戻すことを優先した。

大切なのはおいしいものを提供することであり、働く人たちのやりがいを高め満足度を高めていくことだ。「らしさ」を忘れることなく、お客様の「要望以上」のことをやる。これが7年連続マイナスを7年連続のプラスに転ずる原動力となった。

★リーダーズ・アドバイス

新しい時代を開くというと、過去を否定するとか、荒療治を施すというイメージを持つ人が少なくない。それも手法としてあるが、絶対に守るべき基礎基本を徹底することで強みを取り戻すケースも少なくない。

5. 幹事報告

【ガバナー事務所より】

【受付文書】

①相模原南RC創立50周年記念誌送付のご案内（記念誌は回覧）

②2022-2023年度地区R財団セミナー・補助金管理セミナー（7/16開催）

【例会変更】⇒無し

【本日の配布物】⇒無し

6. 記念日

- ・会社創業記念日
- ・入会記念日
- ・御結婚記念日
- ・御誕生記念日（会員）
（配偶者）

7. スマイル報告

- 前肇様（前商店）「会長・幹事、一年間お疲れ様でした。会員の皆様、お弁当をご利用いただき誠にありがとうございました。」
- 鈴木和夫さん「通常例会も本日が最終となり、後は来週の納会を残すのみとなりました。今年は記録的に早い梅雨明けとなりそうです。晴ればれとした気分にはやりたいです！皆様一年間、スマイル寄付、クラブ活動へのご協力ありがとうございました!!」
- 山谷洋子さん「1年間皆様方のご協力のおかげで無事幹事を務めることができました。本当にありがとうございました。」
- 北村まり子さん「明日育ての親の兄の90歳のお祝いで旅行に行きます。どこへ、二日前に带状疱疹のワクチンを打って来ました。すごく痛いです。」
- 古谷スミ子さん「いよいよ今年度も終わりです。鈴木会長・山谷幹事・北村副幹事お世話になり有難うございました。次年度もよろしく願いいたします。」
- 大屋富茂さん「本年度例会も6/30最終打ち上げを残す所となりました。会員の皆様、1年間の感想は如何でしょうか？」
- 神崎達朗さん「梅雨明けも早まりそうです。鈴木・山谷年度はもうすこし続くといいですね。古谷さんにおこられそう。」
- 桐山晃忠さん「2022年度の秦野名水RCもあと2回で（今日も含め）完了ですね。御苦勞様でした。諸事情もあり大変でしたが、無事年度を通りぬけました。」
- 原郁夫さん「鈴木・山谷年度、最終例会のみとなりました。1年間おつかれさまでした。」
- 原恵美子さん「久しぶりにお煮しめを作りましたので、持参しました。ご自宅でゆっくりお召し上がり下さい。次は何を作ってようかしら・・・・・・スマイルします。」
- 東島礼美さん「梅雨らしくなって参りました。先週は梅干しをつけました。暑い土ようが来ますように。」
- 淵脇美代子さん「最終例会、都合で欠席させていただきます。皆様より先に、お土産頂きました。お心遣いありがとうございます。今年度もいろいろお世話になりました。次年度もよろしく願いいたします。」
- 諸星利男さん「鈴木体制、目的完遂おめでとうございます。お疲れ様でした。」
- 諸星道治さん「鈴木会長、山谷幹事一年間ご苦勞様でした。三じゅう丸です。大変良くできました。次年度はゆっくり休憩して下さい。また、一年間スマイル頂きました会員の皆様多くさんのスマイル有難うございました。」 合計53,000円

8. 出席報告

○会員数 15名、○会員義務 15名、○出席数 13名、○出席率 86.7%

9. 地区委員会報告

10. 委員会及びその他の報告

○国際奉仕委員会 諸星道治委員長



- ・外国コインについて
山梨県の武田滋様という方から募金を頂きました。

（お手紙紹介）
はじめてご連絡いたします。

仕事や旅行などで使用しなくなったコイン等処分に困っていました。
たまたまPCのニュースの中でそちらの外貨を集めていられることを知りました。銀行にて一部、日本円に交換できるかも知れませんが、全て使用していただけると幸いです。なお記念コイン・日本の古銭等もありますが、使っていただけると幸いです。

22. 6. 20

武田 滋

11. クラブ協議会 会長、幹事、ガバナー補佐1年間の総括

○鈴木和夫会長



始めに、2021年7月～2022年6月迄、皆様のご協力を頂き何とか無事に、会長の職責を務める事ができました事を熱く御礼申し上げます。ありがとうございました。

特に山谷幹事には、きめ細やかなサポートをして頂き、私の抜け落ちた点をカバーし、支えて頂いた事に心から感謝したいと思います。

私が秦野名水ロータリークラブにお世話になったのが、2007年（平成18年）4月に入会させて頂き、2年程度在席させて頂きましたが、経営悪化、4年間程経営の立て直しに努力致しました。2013年（平成25年）4月に再入会させて頂きました。ロータリー歴は足掛け12年程ですが、今年度会長と言う大役を仰せつかり、不安で一杯の昨年7月の船出でしたが、会長就任は私にとって良い勉強になり非常に貴重な経験となりました。

さて、本年度の活動について振り返ってみますと、前々年度、前年度に引続き、新型コロナウイルス感染拡大に翻弄された1年だったと感じます。今年度スタート早々、7月26日～8月31日まで、緊急事態宣言が発令、さらに9月12日まで延長されました。当クラブでも感染防止対策として、8月19日～9月9日までzoomによるオンライン例会に変更しましたが、休会にはしませんでした。緊急事態宣言中の9月2日の定例理事会（Zoomによるオンライン会議）にて「緊急事態宣言解除後は食事の提供無しでも対面での例会にしよう」「みんなの顔を見れないと寂しい」との意見が多数出て、9月16日から感染防止対策を徹底した上で、対面形式のリアル例会に戻しましたが、食事の提供は見送り、例会場に來れる人は集合してオンライン併用のハイブリット例会で運営しました。この時の「みんなの顔をみれないと寂しい」の言葉が今でも忘れられません。この様に、今年度のテーマの第一項に挙げました「例会数の確保」は、非常に厳しい環境下ではありましたが休会にする事なく予定通り開催でき、仲間との友情を育み、人間関係を築き、仲良くなる事で「ワンチーム秦野名水」を実感できたと思います。

次に第二項に挙げました「奉仕活動への全員参加」についてですが、奉仕プロジェクト活動の源になります、スマイル委員会の諸星委員長、神崎副委員長のスマイル寄付への強力なアピールを頂いた事と、それにも増して皆様のお気持ちと、ご協力のおかげで目標額を遥かに超える実績を達成できました。本当に有難うございました。

その奉仕活動プロジェクト委員会の活動ですが、リーダーの古谷会長エレクトを中心に、各奉仕委員会委員長を始め、委員の方々、会員の皆様の奉仕への組織意識の高揚が強く感じられた1年でした。

職業奉仕委員会では、首都圏外郭放水路（地下神殿）の見学を企画しましたが、山本委員長と協議の結果コロナ感染拡大の影響を考慮し止む無く中止としました。

社会奉仕委員会では、東島委員長のご協力を頂き、早朝座禅会の後に、原さんのご協力を頂き、蓑毛大日堂境内への植樹事業を行いました。3年前 原年度に丹沢の紅葉の苗木の植樹を行いました、いまいち苗木の成長が思わしくなくなったため、成木の紅葉5本を植樹し、将来紅葉の名所として、大日堂境内での野点会、芋煮会等を企画し、外国籍の方々を招待し、国際友好交流を促進し日本文化継承の行事がで

きたら良いなと思っております。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、市民の日恒例の薬物乱用防止・エンドポリオキャンペーン、たばこ祭り、丹沢まつり等への参加を予定しておりましたが中止となりました。青少年奉仕委員会と合同で企画しておりました、児童養護施設心泉学園の高校生の生徒さんのテーブルマナー教室も、非常に残念でしたが、最終的に中止に追いやられました。

国際奉仕委員会では、諸星委員長の奮闘努力を頂き8月27日、秦野市のご協力を頂き市内5か所の公共施設に外国コイン募金箱の設置が完了しました。会員総出で回収作業の結果、総重量93.2kg、日本円換算総額277,000円もの募金額として、日本ユニセフ協会に送付する事が出来ました。この事業に協力して頂いた市民の皆様への報告として、6月17日の「タウンニュース 秦野版」に大々的に掲載して頂きました。外国籍市民の支援になるような事業を充実しようとの思いでポケットクの寄贈を計画しましたが、この事業はポケットク寄贈に止まらず、小学校就学予定外国籍児童への教材支援（小学校入学時必要教材等）も同時に行うことが出来、関係部署から感謝の言葉を頂きました。ポケットクは就学前の児童を預かる保育園等の職員の方々から、未だ日本に来てから間もない外国籍の保護者とのコミュニケーションや伝達事項のやり取りに大変役に立っている旨の感謝の言葉が伝わってきております。

青少年委員会では、原委員長が積極的且つ精力的に行動して頂き、中学生英語スピーチコンテスト・秦野市野球連盟・ブックスタート・親子川柳大会への支援を行いました。昨年度（認定こども園9園）に続き市内4ヶ所の私立保育園（西湘秦野・ハレノヒ・山辺・若木保育園）に絵本の贈呈を行いました。今年は12月中旬の実施で、子供たちへのクリスマスプレゼントには少し早かったですが、突然のサンタクロースの登場に園児たちは大喜びでした。この事業は、できたら継続して市内全園に寄贈出来ればと思っております。

国際奉仕委員会との合同事業「ポケットクの寄贈」、社会奉仕委員会との合同事業「テーブルマナー教室」が中止となりましたが、代替事業として心泉学園への「コピーボード」の贈呈ができ、先方より非常に便利に利用させて頂いている旨、感謝の言葉を頂いております。

今年度の奉仕プロジェクト委員会としては、中止になった支援活動もありましたが概ね計画を達成する事が出来たと思います。改めまして皆様に感謝申し上げます。寄付については、皆様のご理解とご協力を頂きましてクラブとして目標を達成いたしました。R財団年次寄付・ポリオ寄付103%恒久基金1000\$（神崎達朗様）米山奨学 普通・特別寄付100%

第3項の会員増強活動の強化につきましては、今年度会員純増4名の目標を立てましたが、実績「ゼロ」でした。増強委員長のお力をお借りして勧誘活動を行いました。が、力及ばず結果を出す事が出来ませんでした。新会員獲得の難しさと、私個人の力の無さを痛感した一年でした。新会員獲得は来期以降も当クラブの第一課題だと認識していますので、全員で力を合わせてこの課題に取り組んで行きたいと思っております。

第4項のクラブ戦略計画委員会の活動／計画案作成につきましては、委員会の設置はしたものの、クラブフォーラムにて全体会議の開催を数回で終わらせてしまいました。会長自身が危機意識を強く持って、旗振りをしなければならなかったと反省しております。秦野名水ロータリークラブの未来図をしっかりと描き、次年度からの第一歩となる今年度にできなかった事をお詫びいたします。

以上、一年間の活動を振り返って自己採点をする、50点の出来映え、達成率だったと思っております。

一番残念に思う事は、新会員獲得「0」実績を残せなかった事と、少人数のクラブでも運営方法はあるので、その戦略計画案を策定できなかった事です。

冒頭に申し上げましたが、今年度のクラブ運営に関しまして皆様のご協力に心から感謝し、御礼申し上げます。

○山谷幹事

一年間、お世話になりありがとうございました。
幹事方針として3つあげました。

- 1 会長の方針に従い、会長を補佐し、幹事会、各委員会との連絡を密にしクラブ運営が円滑に出来る様努めます。
 - 2 自クラブ以外の諸行事にも積極的に参加する様に努めます。
 - 3 時代の変化に適応できる柔軟なクラブ運営に努めます。
- という事では出発をしました。

お蔭様で会長の基本方針である「ワンチーム秦野名水」を基本として活動をして来ました。会長には迷惑ばかりおかけして申し訳ないと思っています。自分自身幹事とは何をしたらいいのか、疑問だらけでしたが例会や諸行事に参加することによって少しずつですが、理解できるような気がします。

コロナ過のためにリモートの多い1年でしたが皆様のご協力でズームなどのツールを使用しスムーズに例会が出来た事は本当に良かったと思っています。この1年皆様のご協力で幹事の仕事もどうにかここまでくることができました。本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



○大屋ガバナー補佐



- ・昨年度8月か9月秦野名水からガバナー補佐に就任致しました。10月位から研修が始まりましたので、地区へ行ったり多忙な一年半でした。ロータリー歴35年。一年間、各クラブの会長・幹事、秦野名水クラブの会長・幹事はガバナー補佐選出のクラブでありましたので、ご協力して頂きましてありがとうございました。

滞りなくグループの活動も終えられたかなと思いますが、一番残念に思う事は設立以来ロータリアンとして、友として、酒飲みの友として、一緒に活動して参りました、酒井健一会員の逝去でありました。初めて弔辞を読ませて頂きました。いろいろな思い出を思い出しながら、弔辞を読ませて頂きました。一つの経験であったなと思います。秦野名水ロータリークラブの皆様方にはホストクラブとして、ガバナー補佐をお支え頂きまして本当にありがとうございました。次年度は副会長と会員増強委員長という事で休む暇がない。一番感謝したいのは両親であります。ロータリー活動が出来るのは、丈夫な身体に生んで頂いた親のおかげであると思っています。一年間ご協力をして頂き本当にありがとうございました。

12. 点 鐘

